

life

くらし



# 健康110番

国際医療福祉大学病院です

30



三國雅彦医師

## 抵抗力低下によるうつ病

**Q** 55歳主婦。健康でしたが、看病して介された母が逝去し、むなしくして仕方なく、不眠、食欲低下が現れ、テレビのニュースが頭に入らず、献立も浮かばないため、認知症を心配して神経内科を受診し

**A** 中高年初発うつ病の方が「認知症に悩んでしまつて、家族に迷惑を掛ける」と心配して神経内科を受診されることが時々あります。うつ病は、10代から80歳すぎまでいろいろなステージで発症する脳血管の微小な梗塞

## 母の死で不調：認知症？

する病気で、人生の重大事が発症に絡むことが多いのですが、その

や閉経などが知られて重くなる、預金通帳を見せられても「経済的に立ち行かない」と確信する貧困妄想や「罰を受けなければならぬ」と確信する罪業妄想が出現すること

「好きな趣味をやつても楽しめない」「考えがまとまらず、頭が回らない」「友人に心配を掛けるので会いたくない」「自分を責める気

「うつ病では、意欲や問題解決能力の中枢であり、考えを実行する機能が低下していることが脳血流の測定による臨床研究で明らかになっています。一方、代表的な認知症のアルツ

「うつ病は心の風邪」に「うつ病は心の風邪」言語理解の中枢のある「側頭葉、情報を理解し、知識を統合して記憶する機能を持つ頭頂葉の神経活動の低下が明らかになっています。このように、うつ病と認知症とは研究的な検査によっても区別されるようになってきているので

有効な抗うつ薬が何種類もあるうつ病は必ず治る病気と精神科医は考えて、「必ず治るので、焦らないで治療しましょう」と説明してきました。

ところが最近の10数年間で、「うつ病は治らない。就労も家事もできなくなつてしまふ病気」と一般的に捉えられるようになりまし

た。これは20年前に新規の抗うつ薬が続々とわが国に導入された時に

（第2、4、5木曜日掲載）



イラスト/ 仲田育代

SHIMOTSUKE GRAPHICS

「ストレスがあれば誰でもがなる病気」とい

うキャンペーンが行われ、安易にうつ病診断がなされ、本来精神療法や認知行動療法で治療すべき方々に抗うつ薬が処方されるようになったためです。

しかし、厳密に診断されたうつ病は前述のように前頭葉の機能低下を来しますが、抗うつ薬と精神療法で血流低下も改善し、うつ状態も治る病気です。中年発症うつ病は高血圧、糖尿病、高脂血症などを伴っていることが多いので、それらの治療をしっかりすることも効果を高めます。

（精神神経科・こころのケア科 三國雅彦）